

Q&A

気になるポイントや、よくあるご質問にお答えします。

Q 「警察官A」など、採用試験との併願はできますか？

A 年齢上限等の受験資格に該当していれば併願可能です。いずれも試験合格していけば採用内定の段階でどちらのキャリアを選択するか確認されます。

Q 試験ではどのような問題が出題されますか？

A 試験案内に記載されている分野・程度の教養試験と専門試験、論文試験の問題が出題されます。教養試験では択一式となり、専門試験では記述式の出題も一部あります。難度はそれほど高くありませんが、市販の問題集などで勉強の方がよいようです。

Q 体力面で不安を感じています。大丈夫ですか？

A サイバー犯罪捜査官の現場活動は多くなく、健康を害していなければ特段支障ないものと思われます。持ち前の知識やスキルを生かせる職で活躍していただくようになります。

Q 資格取得の機会がありますか？

A 現役のサイバー犯罪捜査官も活躍の幅を広げるため、より高度な部外資格や国際資格にチャレンジすることでスキルアップを図っています。資格によっては公費支援を受けられる場合があります。

Q 体力試験はありますか？

A 体力試験はありません。視力や色覚等の身体検査や、医療機関で身体精密検査を受検し、結果をご提出をいただくのみです。

Q 警察官は多忙な印象ですが、勤務時間はどうなっていますか？

A 勤務制は、「毎日制勤務」と「交替制勤務」の2種類があります。いずれの場合も1週間当たりの勤務時間は38時間45分になり、1週間当たりの休みは2日となります。また、年間最大40日の年次有給休暇のほか、結婚出産などの特別休暇や育児休業などの制度も整っています。

公式SNS 最新情報はこちらでチェック!



徳島県警察Instagram



https://www.instagram.com/tokushima_police/



徳島県警察Facebook



<https://www.facebook.com/tokushimapolice>



徳島県警察Twitter



<https://twitter.com/uzushiokun/>



徳島県警察
公式チャンネルYouTube



[採用に関するお問合せ]

〒770-8510 徳島市万代町2丁目5番地1

徳島県警察本部警務部警務課人事係

TEL.088-622-3101(代)

TEL.088-621-2953(直通)

<https://www.police.pref.tokushima.jp/>



サイバー犯罪捜査官 採用案内

守り抜く、
知識と技術で。

集結、サイバー犯罪捜査官

IT技術の進歩とともに、サイバー犯罪も巧妙化する昨今。
人々の安らかな生活を脅かすのがデジタル技術なら、
それを防ぎ守るのもまたデジタル技術。
誰かを笑顔にするために、あなたにできることがきっとある。

守り抜いた、知識と技術で。

新たに企画・サイバー警察局発足

局内にサイバー戦略推進課を設立し体制強化

徳島県では全国屈指の光ブロードバンド環境を活かし、産官学の連携によって「徳島モデルのDX(デジタルトランスフォーメーション)」が推進されています。徳島県警察は全国の警察組織と比較して小規模でありながら、ITスペシャリストとして選考採用されたサイバー犯罪捜査官の構成比が高く、その高い実力によりこれまでも多数の事件検挙や被害対策推進の実績を誇っています。そして2023年春、新たに企画・サイバー警察局が発足。局内にサイバー戦略推進課を設立し、より強固な体制を築き上げます。

新たなチャンス、実力主義の

「サイバー犯罪捜査官S」

デジタル社会に潜む脅威に立ち向かうには、ITに関する高いスキルが欠かせません。徳島県警察では実力のある人材を招き入れるため、選考採用の区分に「サイバー犯罪捜査官S」を新設。採用時階級が警部補や警部となるのは全国の警察でも希有な例で、より大きなフィールドで活躍することが可能です。



サイバー戦略推進課長からのメッセージ

「デジタル社会の恩恵は地方こそ大きい
~その安全・安心のために~」
全国屈指の光ブロードバンド環境が整っている徳島県はサテライトオフィスの発祥の地でもあり、注目を集め各地から進出しつつあります。この流れを一層進めるため、徳島県警察に新たな組織体制を醸成させ、サイバーセキュリティ戦略を強化しています。企業・組織や社会基盤を狙ったサイバー攻撃、コンピューターウイルスや不正アクセスなどのセキュリティ上の脅威に対処し、また、県民や企業・

各種団体のみなさんに向けたセキュリティ支援や諸対策を普及啓発することで、地方における安全・安心なデジタル社会の実現を徳島県警察がリードしていきます。こうした徳島県警察の新たな責務の達成には、IT・デジタル分野に精通した多くの人材が必要であり、みなさんを強く求めています。選考採用においては全国警察でもあまり例のない警部採用が可能となる新区分を設けました。サイバー犯罪捜査官となって、一緒に安全・安心なデジタル社会を実現しましょう。

専門知識や経験を活かし、サイバー犯罪捜査等に従事！

必要なIT資格	難易度	令和4年度の採用について	令和5年度の採用について
情報処理安全確保支援士など 高度なIT資格	Lv 4	[サイバー犯罪捜査官A] 職歴3年以上 巡査部長採用	新設予定 [サイバー犯罪捜査官S] 職歴10年以上 警部採用 職歴5年以上 警部補採用
応用情報技術者	Lv 3	[サイバー犯罪捜査官A] 職歴3年以上 巡査部長採用	[サイバー犯罪捜査官A] 職歴3年以上 巡査部長採用
基本情報技術者 情報セキュリティマネジメント	Lv 2	[サイバー犯罪捜査官B] 職歴不問 巡査採用 令和4年度新設	[サイバー犯罪捜査官B] 職歴不問 巡査採用
ITパスポート	Lv 1		

職務内容・受験資格等

サイバー犯罪捜査官S

職務内容について

警察本部等において専門的知識及び経験を活かし、サイバー犯罪捜査等の業務に従事し、かつ高度化・多様化するサイバー犯罪に対処するため、警察職員への指導・教養を行います。

受験資格について

次のアからウまでの全ての要件を満たす者
ア 採用時年齢 59～27歳
イ 次の(ア)から(ケ)までのいずれかの資格、又はこれらに相当する資格を有する者
(ア)ITストラテジスト(イ)システムアーキテクト
(ウ)プロジェクトマネージャ(エ)ネットワークスペシャリスト
(オ)データベーススペシャリスト
(カ)エンベデッドシステムスペシャリスト
(キ)ITサービスマネージャ(ク)システム監査技術者
(ケ)情報処理安全確保支援士
※「これらに相当する資格」とは、旧システムアナリスト、旧情報セキュリティスペシャリスト等をいう。
ウ 次の(ア)及び(イ)のいずれかの職歴を有する者
(ア)情報処理に関する有用な職歴を5年以上有する者
(イ)情報処理に関する有用な職歴を10年以上有する者
ただし、(イ)の職歴には特に有用な職歴(※)を含むものとする。
※特に有用な職歴とは、地方公共団体又は民間企業(システム開発部門等)等で、管理監督の地位に就いていた職歴やマネジメント部門歴等をいう。

サイバー犯罪捜査官A

職務内容について

警察本部等において専門的知識及び経験を活かし、サイバー犯罪捜査等の業務に従事します。

受験資格について

次のアからウまでの全ての要件を満たす者
ア 採用時年齢 59～25歳
イ 次の(ア)から(コ)までのいずれかの資格、又はこれらに相当する資格を有する者
(ア)ITストラテジスト(イ)システムアーキテクト
(ウ)プロジェクトマネージャ(エ)ネットワークスペシャリスト
(オ)データベーススペシャリスト
(カ)エンベデッドシステムスペシャリスト
(キ)ITサービスマネージャ(ク)システム監査技術者
(ケ)情報処理安全確保支援士
(コ)応用情報技術者
※「これらに相当する資格」とは、旧システムアナリスト、旧ソフトウェア開発技術者、旧第一種情報処理技術者、旧情報セキュリティスペシャリスト等をいう。
ウ 情報処理に関する有用な職歴を3年以上有する者

サイバー犯罪捜査官B

職務内容について

警察本部等において専門的知識及び経験を活かし、サイバー犯罪捜査等の業務に従事します。

受験資格について

次のアからイまでの全ての要件を満たす者
ア 採用時年齢 36～18歳
イ 次の(ア)から(シ)までのいずれかの資格、又はこれらに相当する資格を有する者
(ア)ITストラテジスト(イ)システムアーキテクト
(ウ)プロジェクトマネージャ(エ)ネットワークスペシャリスト
(オ)データベーススペシャリスト
(カ)エンベデッドシステムスペシャリスト
(キ)ITサービスマネージャ(ク)システム監査技術者
(ケ)情報処理安全確保支援士
(コ)応用情報技術者
(サ)基本情報技術者
(シ)情報セキュリティマネジメント
※「これらに相当する資格」とは、旧システムアナリスト、旧ソフトウェア開発技術者、旧第一種情報処理技術者、旧情報セキュリティスペシャリスト等をいう。

※日本国籍を有しない者及び地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条各号のいずれかに該当する者は、試験を受けることができません。令和5年度選考採用試験のケースです。試験案内に詳細な受験資格等を記載していますので、徳島県警察の公式ホームページを御確認ください。



S-CLASS INVESTIGATOR

S級捜査官 徳島県警察のサイバー分野を牽引していく

サイバー犯罪捜査官を志した理由は?

大学やIT企業で培ったスキルを活かし、警察官として社会貢献したいと考えました。犯罪捜査や防犯対策など、警察官でなければ得難い経験やノウハウも多く、やりがいを感じています。

主に担当している業務は?

サイバー戦略推進課の管理官として、サイバー犯罪の捜査指揮を行うほか、専門知識と捜査能力を兼ね備えた捜査員の育成など、サイバー関連のマネジメント業務に携わっています。

取得IT資格、又は挑戦中のIT資格は?

学生時代に第二種情報処理技術者(基本情報処理技術者)、現職で情報処理安全確保支援士を取得しました。現在、ネットワークスペシャリスト等の新たな資格取得に向けて勉強中です。

新規採用の方へ向けて

サイバー空間を安全・安心なものにするためには、皆さんの力が必要です。皆さんの力を「サイバー犯罪捜査」という新たなフィールドで活かしてみませんか。熱意ある仲間をお待ちしています。



A-CLASS INVESTIGATOR

A級捜査官 サイバー犯罪の窓口や対応ノウハウを広く伝える

サイバー犯罪捜査官を志した理由は?

IT企業で勤務していた頃、徳島県警察がサイバー犯罪捜査官を募集していることを知り、自分の知識や経験を活かすことができ、かつ、県民の力になれるのではと考え、応募しました。

主に担当している業務は?

現在は、サイバー犯罪対策係として、警察官に対するサイバー捜査の教養や支援、教育機関や民間企業などに対する広報啓発活動などを実施しています。

取得IT資格、又は挑戦中のIT資格は?

情報安全確保支援士(情報セキュリティスペシャリスト)、ソフトウェア開発技術者などを取得しています。なお、情報セキュリティスペシャリストは、現職で取得しました。

新規採用の方へ向けて

サイバー犯罪の検挙・被害防止のためには、皆さんの豊富な知識や経験が必要です。県民の安心・安全を守るという大きな目的を実現するために、一緒に頑張っていきたいです。



B-CLASS INVESTIGATOR

B級捜査官 志は曲げず活躍のステージを現場からネット空間へ

サイバー犯罪捜査官を志した理由は?

以前は強行犯や窃盗犯などの捜査に携わっていましたが、ネット空間での犯罪が広がりつつある現状から、サイバー犯罪への知識や捜査手法についても身につけたいと感じたからです。

主に担当している業務は?

不正アクセス事件や、インターネットバンキング不正送金事件などの捜査に携わっています。サイバー犯罪の特性上、犯人が県内にいるとは限らず、捜査活動を全国に展開することも多いです。

取得IT資格、又は挑戦中のIT資格は?

部内研修制度でサイバー戦略推進課に配置となったため、現在、情報セキュリティマネジメント等の資格取得に向け、日々勉強に励んでいます。

新規採用の方へ向けて

サイバー犯罪は日々手口が複雑化し、犯人逮捕は難しいという印象があるかもしれませんが、多彩な知識、捜査手法を駆使すれば犯人を追い詰めていくことが出来ます。サイバー犯罪捜査官として、一緒に頑張りましょう。

リスキングによる新たな警察キャリアパス!!

キャリアアップについて

サイバー犯罪捜査官として選考採用された方には、多様なキャリアアップの道が。採用試験による一般的な警察官と比較しても、より上位の階級で採用された場合、必要となる経験年数が短縮される形となります。

「昇任イメージ図」



警部までの最短昇任年数(目安)

巡査採用のケース	11年
巡査部長採用のケース	8年
警部補採用のケース	5年

注目ポイント01

民間企業も驚き!? 充実のスキルアップ制度!

採用後もスキルアップを図るため、充実した全国規模の専科教養や民間研修等を受けることができます。また、IT資格取得に向けた支援や優遇措置が整備されています。



※写真はイメージです

注目ポイント02

給料月額に各種手当あり。 給与面では同年代と 比較しても遜色なし!?

給料月額は民間企業での経歴等に応じて加算されることがあります。サイバー犯罪捜査官の年代・階級別のモデルケースをピックアップしました。給与面は徳島県人事委員会の勧告等に基づいて改定が行われる場合がありますが、参考にしてください。

民間企業での経歴も
給与に反映されます!

B級捜査官

27歳 巡査部長
[給料月額]
約25万3,000円
[年収]
約580万円

A級捜査官

40歳 警部補
[給料月額]
約35万2,000円
[年収]
約760万円

S級捜査官

50歳 警視
[給料月額]
約45万3,000円
[年収]
約960万円

休暇制度

・夏季休暇・介護休暇・ワークライフバランス休暇(ファミリー休暇)

[子供の行事] 入学式や参観日、 七五三や習い事など	[ファミリーケア] ・家族の看護・子どもの学校が休校になった時 ・職員や配偶者の不妊治療など	[結婚記念日]	[誕生日]
その他		勤続休暇・受賞休暇・功労休暇	社会貢献休暇・スキルアップ休暇など

出産・育児を支える主な制度

👩 女性のみの制度 👨 男性のみの制度

産前・産後休暇

出産前の8週間と出産後の8週間、女性職員が取得できます。

妊娠中に取得可能な休暇

保健指導：妊婦健診等を受ける場合や妊娠
通勤緩和：によるつわりのため勤務する事が
妊娠障害：困難な場合等に取得できます。

出産サポート休暇

配偶者の出産や、配偶者の産前・産後8週間の間に当該出産に係る子、または小学校就学始期までの子を養育する場合に取得できます。

育児休暇(子の保育)

生後1年6ヶ月未満の子どもへの授乳や託児所への送迎等で休暇が取得できます。

子の看病

中学校に入学するまでの子どもを看護する場合に取得できます。

育児休業

子どもが3歳になるまで取得可能。もちろん男性も取得できます。

部分休業

子どもが小学校に入学するまでの間、勤務時間の一部を休業できます。勤務時間の始めまたは終わりに30分単位で取得できます。

育児短時間勤務

子どもが小学校に入学するまでの間、幾つかの勤務パターンから選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができます。

その他

早出遅出勤務・時間外勤務制限
深夜勤務制限

時差出勤

個人のライフスタイルに応じて、9つのパターンから勤務時間を選択。多様な働き方が可能になります。
※通常勤務の場合のみ※全て7時間45分勤務

通常勤務	8:30~17:15	特A勤務	8:00~16:45	特C勤務	10:00~18:45
特S勤務	7:00~15:45	特B勤務	9:00~17:45	C勤務	10:30~19:15
S勤務	7:30~16:15	B勤務	9:30~18:15	特D勤務	11:00~19:45

活用例 家庭での時間増加に・保育園への送迎に
通勤ラッシュの回避に・習い事や趣味に など



エリア異動

県内3つのエリアから第2希望まで申告。可能な限り希望エリア内で中長期的に勤務できるように配慮されます。

■ 県中央エリア ■ 県西エリア ■ 県南エリア

県本部	阿波吉野川署	小松島署
徳島中央署	美馬署	阿南署
徳島名西署	三好署	牟岐署
徳島板野署		
鳴門署		

